



重度の自閉症であるGAKUは、4年前に突然「絵」という「言葉」を見つけた。彼にとって絵は自閉症と世間との「接点」である。重度の知的障害と言語障害と診断され、言葉を持たないGAKU。そんな彼が岡本太郎美術館を訪ねた翌日から突然絵を描き始める。現在は年間240枚以上の作品を描き続けている。もし「絵」が彼の「言葉」であれば、GAKUは膨大の量のコミュニケーションを発している。そんなGAKUの絵は我々に直感的に語りかける。

Active in Kawasaki, Japan



GAKU

Born 2001 in Yokohama, Japan. Diagnosed with autism and intellectual disability at age 3. Hoping for a better treatment of autism for Gaku, his family moved to Los Angeles where he lived for 9 years. Upon returning to Japan at 14, his father founded I'm Inc. to pursue a more secure and reliable welfare program for his son. Currently attends Nobel High School ran by his father, a school for children with intellectual disabilities.



アメリカ国籍 / 2001年生まれ / 川崎で活動

生まれつき自閉症で知的障害と診断され、自閉症対処で9年間ロスアンジェルスへ渡米。5年前に日本へ帰国し、父親が川崎で始めたアイム(発達障害の福祉施設)の運営するノーベル高校に通い始める。言語を介さない独自の特殊な世界観を持つ。20歳の現在でも小学2年生ほどのコミュニケーション力だが、言語を超えた領域で特別な能力を発揮。左脳を排除した右脳だけの世界で自分の表現力をみつける。彼の作品は極めて直感的で外の次元からパワーが炙り出てきているかのような波動を発している。現代人が窮屈な常識や世間のこうあるべきだというルールで疲弊する中、彼の直感的で自由な表現力は、我々に「本当の障害とは何か?」を問いかけている。

